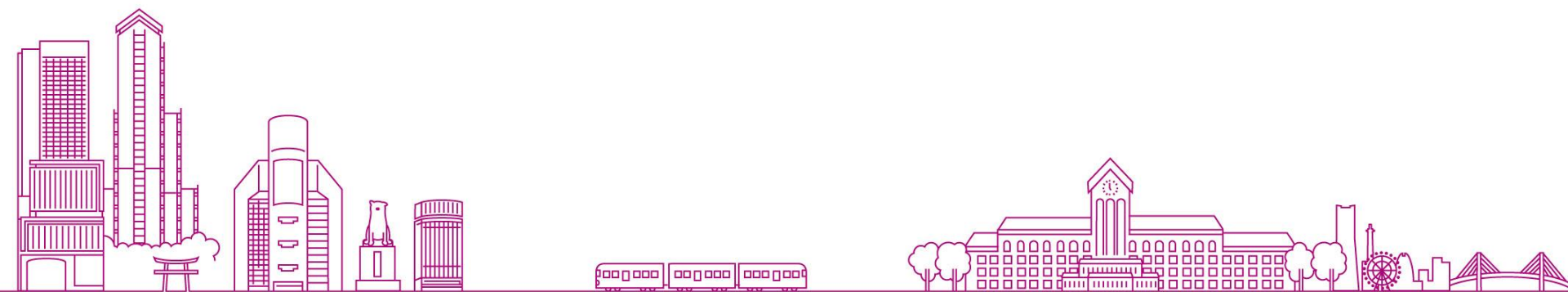


III. 時間割の作成



(1) 卒業に必要な科目を知る

共通教育プログラム (36単位以上)

科目の種類	科目 (または科目区分)	単位数
必修	神道と文化	2単位
	英語 I	2単位
	中国語 I～IV	8単位
選択必修	専門教養科目群	6単位以上 (パッケージ)
	数的推論 コンピュータと情報	2単位以上
選択	共通教育プログラム科目から自由に 選択	16単位以上

(1) 卒業に必要な科目を知る

専門教育科目（64単位以上）

☞ 専攻・卒業論文の選択によって必要単位が異なります！

履修要綱の

P31（文学部）、

P36～39（中国文学科）、

P52～54（卒業論文）について

熟読してください。

(2) 進級条件

全学年共通

各年次に1学期以上在学すること

2年生→3年生 への進級条件 (中国文学科)

- ①2年次終了までに3学期以上在学
- ②卒業に要する単位で下記の条件を満たすこと

共通教育プログラムの総合科目群で必修の外国語(中国語)4科目8単位のうち2科目4単位、1年次に開講する必修の学科基幹科目7科目13単位のうち2科目4単位を含む34単位以上を修得すること。

(3) 前期の時間割を考える

中国文学科の前期指定登録科目（合計12単位）

→K-SMAPYⅡ「学生時間割表」で各自曜日・時限を確認すること

※同じ学科の同じ科目でも曜日・時限が異なることがあります

- ・「神道と文化」 (共通 必修)
- ・「英語Ⅰ」 (共通 必修)
- ・「中国語Ⅰ」 (共通 必修)
- ・「中国学入門」 (専門 必修)
- ・「中国古典読法Ⅰ」 (専門 必修)
- ・「中国語基礎演習」 (専門 必修)

(3) 前期の時間割を考える

1年生が前期に登録できる単位の上限は23単位

※後期に登録できる単位数は、42単位から前期登録単位数を引いた数
例) 前期に20単位登録した場合は、後期に22単位分登録可能

※2年生からは前期の単位制限がないため、前期に登録しすぎないように
注意! (前期に42単位登録、後期の登録が0単位という事例も…)

中国文学科の前期指定登録科目 = 12単位

👉 自分で前期に登録できる単位数は
 $23 - 12 =$ 最大 11単位まで!

(3) 前期の時間割を考える

～自分で登録可能な**11**単位分の選び方～

【履修要綱でチェック】

- ・必修>選択必修>選択
- ・開講学年

【WEB時間割(大学HP)でチェック】

- ・開講曜日、時限
- ・履修制限(学科指定、学年指定など)

【シラバス(K-SMAPY II)でチェック】

- ・授業内容、評価方法
- ・履修制限(学科指定、学年指定など)など

(3) 前期の時間割を考える

～自分で登録可能な11単位分の選び方～

これまでの説明を踏まえると、下記のような科目がおすすめ

- ・専門教養科目 (共通 選択必修)
→パッケージを選択の上、開講学年1年・文学部生が履修可能な科目を選ぶ
- ・「数的推論」or「コンピュータと情報」 (共通 選択必修)
- ・「日本文学概論Ⅰ」 (専門 選択必修)
- ・「日本語学概論Ⅰ」 (専門 選択必修)
- ・「中国古典読法基礎」 (専門 選択)

(4) 教職・資格課程科目

教職課程を希望する学生（履修要綱P.106～）

☞教職ガイダンスを受講の上、必要な科目を時間割に組み込んでください。

資格課程を希望する学生（履修要綱P.141～）

博物館学課程 / 図書館司書課程

学校図書館司書教諭課程 / 神職課程

明階総合課程（神道文化学部のみ選択可）

保育士課程（子ども支援学科のみ選択可）